

平成30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市大宮学園
条例上の設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号。)第6条の2の2第1項に規定する障害児通所支援を行う
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	障害児療育の専門性を高め、質の高い療育を提供し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込んでいます。
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	① 定員充足率9割以上 ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉市社会福祉事業団
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年)
選定方法	非公募
非公募理由	次の理由により、公募の方法によらず千葉市社会福祉事業団を指定管理者とした。 (1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。 (2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。 (3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H30年度実績	達成率※
施設利用者数	定員充足率90%以上	定員充足率75.8%	88.67%
利用者アンケートにおける利用者満足度	満足度90%以上	満足度92.9%	103.2%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	H30年度実績
施設利用者数	延べ 11,545人

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		H30年度	H29年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	294,345	276,085	実績－計画	△ 3,329	人件費不用額市返納
	計画	297,674	280,447	計画－提案	△ 2,698	市による査定
	提案	300,372	295,891			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	5,491	3,823	実績－計画	5,491	補正増
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	299,836	279,908	実績－計画	2,162	
	計画	297,674	280,447	計画－提案	△ 2,698	
	提案	300,372	295,891			

イ 支出

(単位：千円)

費 目		H30年度	H29年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	209,498	200,957	実績－計画	△ 5,049	人事異動、育児休暇1名
	計画	214,547	209,211	計画－提案	△ 9,108	市による査定
	提案	223,655	220,141			
事務費	実績	12,767	11,062	実績－計画	713	修繕費の増加
	計画	12,054	11,872	計画－提案	△ 688	本部経費按分額変更
	提案	12,742	12,075			
事業費	実績	16,506	17,002	実績－計画	△ 559	水道光熱費の減少
	計画	17,065	17,156	計画－提案	△ 2,415	各科目査定減
	提案	19,480	19,083			
委託費	実績	49,306	36,322	実績－計画	△ 335	契約差金
	計画	49,641	36,422	計画－提案	12,543	自動車運行管理業務委託費の増加
	提案	37,098	37,098			
その他	実績	3,848	4,652	実績－計画	632	契約差金
	計画	3,216	4,685	計画－提案	△ 3,237	人事異動による退職給付積立変動
	提案	6,453	6,550			
本社費・共通費	実績	6,259	10,719	実績－計画	5,108	拠点区分間繰入金支出（事務局経費）の増加
	計画	1,151	1,101	計画－提案	207	拠点区分間繰入金支出（事務局経費）の増加
	提案	944	944			
合計	実績	298,185	280,713	実績－計画	511	
	計画	297,674	280,447	計画－提案	△ 2,698	
	提案	300,372	295,891			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉事業団の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

(2) 収支状況

(単位：千円)

		H30年度	H29年度
必須業務	収入合計	299,836	279,908
	支出合計	298,185	280,713
	収 支	1,651	△ 805
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	0	0
	収 支	0	0
総収入		299,836	279,908
総支出		298,185	280,713
収 支		1,651	△ 805
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
定員充足率9割以上	C	
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 ー：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理				
	市民の平等利用の確保	C	C	・千葉市大宮学園設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。 ・安全管理マニュアル、事故対応マニュアル、感染症防止マニュアル等に従い適切に指定管理を行った。 ・毎月避難訓練を行った
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
	(1) 人的組織体制の充実	C	C	・必要な職員数を安定的に確保した。 ・職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務	C	C	・日常点検・定期点検を適正に実施した。
	施設の保守管理			
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
	(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	・設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館時間を遵守した。
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実	C	C	・各ルームにおいてアンケートを年2回実施した。 ・意見箱を常置した。
	利用者への支援			
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施	C	C	・自主事業として継続して園児兄弟・姉妹預かり事業を実施した。
	施設の事業の効果的な実施			
	自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	・積極的に市内業者を利用した。
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
特になし		

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を保護者に配布し、施設利用時に回収（年2回）
	回答者数	延べ316名
	質問項目	・職員対応について ・保育(療育)内容について ・個別面談について ・学習会・お話し会について ・個別指導について等
結果	ア ひまわりルーム(福祉型児童発達支援センター)	
	前期配布数37、回答数35 回答率94.6%	
	(1) 職員の対応は適切だったか:とてもそう思う25人(71%)そう思う10人(29%)どちらでもない0人(0%)	
	(2) 療育内容は合っていたか:とてもそう思う22人(63%)そう思う12人(34%)どちらでもない1人(3%)	
	(3) 個別面談は適切だったか:とてもそう思う24人(68%)そう思う10人(29%)どちらでもない1人(3%)	
	(4) 保護者向け学習会は参考になったか:とてもそう思う23人(66%)そう思う9人(25%)どちらでもない1人(3%)あまりそう思わない1人(3%)無回答1人(3%)	
	後期:配布数37、回答数34 回答率91.9%	
	(1) 職員の対応は適切だったか:とてもそう思う27人(79%)そう思う7人(21%)どちらでもない0人(0%)	
	(2) 療育内容は合っていたか:とてもそう思う24人(71%)そう思う9人(26%)どちらでもない1人(3%)	
	(3) 個別面談は適切だったか:とてもそう思う22人(65%)そう思う11人(32%)どちらでもない1人(3%)	
結果	(4) 保護者向け学習会は参考になったか:とてもそう思う18人(53%)そう思う9人(26%)どちらでもない6人(18%)無回答1人(3%)	
	イ たけのこルーム(医療型児童発達支援センター)	
	前期配布数23、回答数19 回答率82.6%	
	(1) 職員の対応は適切だったか:とてもそう思う9人(47%)そう思う10人(53%)どちらでもない0人(0%)	
	(2) 保育内容について	
	1) 午前保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う9人(47%)そう思う9人(47%)どちらでもない1人(6%)	
	2) 午後保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う8人(42%)そう思う4人(21%)どちらでもない3人(16%)無回答4人(21%)	
	3) 分離保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う6人(32%)そう思う5人(26%)どちらでもない1人(5%)無回答7人(37%)	
	4) 個別支援計画は納得できたか:とてもそう思う7人(37%)そう思う9人(47%)どちらでもない0人(0%)無回答3人(16%)	
	(3) 個別指導(PT・OT・ST・心理)は満足だったか:とてもそう思う3人(16%)そう思う10人(53%)	
結果	どちらでもない2人(10%)無回答4人(21%)	
	(4) 保護者向け学習会は参考になったか:とてもそう思う6人(32%)そう思う4人(21%)どちらでもない2人(10%)無回答7人(37%)	
	後期配布数23、回答数19 回答率82.6%	
	(1) 職員の対応は適切だったか:とてもそう思う9人(47%)そう思う10人(53%)	
	(2) 保育内容について	
	1) 午前保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う9人(47%)そう思う10人(53%)どちらでもない0人(0%)	
	2) 午後保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う6人(32%)そう思う5人(26%)どちらでもない3人(16%)無回答5人(26%)	
	3) 分離保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う5人(26%)そう思う3人(16%)どちらでもない1人(5%)無回答10人(53%)	
	4) 個別支援計画は納得できたか:とてもそう思う7人(37%)そう思う11人(58%)無回答1人(5%)	
	(3) 個別指導(PT・OT・ST・心理)は満足だったか:とてもそう思う5人(27%)そう思う12人(63%)	
結果	どちらでもない1人(5%)無回答1人(5%)	
	(4) 保護者向け学習会は参考になったか:とてもそう思う8人(42%)そう思う5人(26%)無回答6人(32%)	

	ウ たけのこルーム(児童発達支援事業)
	前期配布数120、回答数95 回答率79. 2%
	(1)職員の対応は適切だったか:とてもそう思う67人(71%)そう思う26人(27%)どちらでもない2人(2%)
	(2)療育内容について
	1)療育内容は合っていたか:とてもそう思う48人(51%)そう思う42人(44%)どちらでもない3人(3%)あまりそう思わない1人(1%) 無記入1人(1%)
	2)個別支援計画は納得できたか:とてもそう思う54人(57%)そう思う32人(34%)どちらでもない4人(4%) 無回答5人(5%)
	(3)STや指導員のお話し会は満足だったか:とてもそう思う38人(40%)そう思う34人(36%)どちらでもない5人(5%) 未参加14人(15%)無回答4人(4%)
	後期配布数133、回答数114 回答率85. 7%
	(1)職員の対応は適切だったか:とてもそう思う86人(75%)そう思う28人(25%)
	(2)療育内容について
	1)療育内容は合っていたか:とてもそう思う64人(56%)そう思う49人(43%)どちらでもない1人(1%)
	2)個別支援計画は納得できたか:とてもそう思う77人(68%)そう思う35人(31%)どちらでもない2人(2%)
	(3)STや指導員のお話し会は満足だったか:とてもそう思う60人(53%)そう思う31人(27%)どちらでもない2人(2%)
	未参加18人(15%)あまりそう思わない1人(1%)無回答2人(2%)

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
個別指導（言語の訓練等）をもう少し取り入れてほしい。	定期的に言語聴覚士が各クラスに入り、利用児の様子を見てアドバイスをしている。個別指導が必要な利用児には、医師の判断で検査を行い、訓練を実施している。
ひまわりルームに加湿器や空気清浄機を設置してほしい。	感染症流行前より各居室の湿度チェックと換気を行い、プレイルームに加湿空気清浄機を設置した。
兄弟を連れていくことができないので思うように利用ができない。	夏休みなどの長期休暇時は「通園時兄弟・姉妹一時預かり事業」を実施していることを改めて周知した。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	施設全般 ・事業計画に沿って概ね計画どおり運営できた。 ・施設維持管理については法令等に基づき点検等を実施し、必要に応じ順次修繕を実施し、利用児が安全かつ快適に施設利用できる状態を維持した。 ひまわりルーム ・移行に関心のある保護者や、ひまわりルーム以外の環境で生活することが好ましいまでに成長した利用児に対し、安心して地域の保育所・幼稚園に移行できるよう、近隣の保育所での「親子体験」や「保育所・幼稚園児童との保育交流」、公立保育所長や幼稚園長の「統合保育」講演会、保護者からの相談に随時応じる等、必要な情報提供や移行支援に努め、幼稚園に1人移行した。 ・就学の保護者に対しては、OB保護者を講師に招いての講演会実施や、「学校見学、就学説明会等」への情報提供、個別面談等を実施し、就学先選択の支援をした。近隣の小学校に4人、特別支援学校に12人が就学した。 ・医療的ケアを必要とする知的障害児に対する支援については、平成29年度から受け入れている1人の利用児を継続して受け入れ、段階的に関わってきた結果、食事を注入栄養(母子通園)から経口摂取することが可能となり、完全単独通園を実施した。 たけのこルーム ・医療型児童発達支援センターは、保護者同士の情報交換の場と低年齢利用児の分離体験、保護者と利用児の給食時間の確保などを目的に、週1回の午後保育を0～6歳児すべての利用児を対象にした分離保育(シエスタ保育)を試行した。保護者からの評判も良好でシエスタ保育実施日の利用人数は増加したが、一日の利用人数は、平成29年度の6.1人から5.2人へと減少した。 ・医療的ケアについては、平成29年度に医療ケアの項目に、「胃瘻からの流動食の注入」を追加し、平成30年度「経管栄養(胃瘻からの流動食の注入)」を2人と契約したが、利用児の体調不良も重なり、分離保育時に2回行うまでに留まった。 ・児童発達支援事業においては、利用児が通っている保育所・幼稚園などに職員が出向き、児への関わり方や支援の方法について情報の共有化を図るなど、連携強化に努めた。また、定期的に個別相談を実施し、保護者支援に努めた。
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	・事業計画に基づき適切に管理運営を行っている。 ・通園児兄弟・姉妹預かり事業において、書面上や口頭での保護者への周知を積極的に行い、療育環境の整備に努めた。 ・ひまわりルームにおいて、幼稚園等への移行を希望している保護者への移行支援を行い、1名が幼稚園等へ移行した。 ・平成29年度から医療的ケアの項目とし追加した胃瘻からの食事注入について、平成30年度も引き続き取り組み、該当する利用者2名と契約をし療育の提供を行った。 ・特別支援学校や保育所等関係機関との連携を深めた。
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
 D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
 E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については、概ね適切に管理が行われているが、適切な成果指標や数値目標を設定し、評価しやすい指標の検討をしていただきたい。